



日本赤十字社

成長ホルモン分泌刺激試験で入院される()さま

主治医は、 _____ です
 病棟師長は、 _____ です
 担当看護師は、 _____ です

	入院当日	入院2日目	入院3日目	退院日
月・日・曜日	/ ()	/ ()	/ ()	/ ()
食事・栄養	<p>特に食事内容の制限はありません。しかし、検査前夜の21時から翌日の検査終了後までは、絶飲食となります。夕食後から21時までに摂取できるような軽食(パンなど)をご準備ください。</p> <p>ただし、水・お茶は飲んでも構いません。</p> <p>検査終了時には食事が出ますので、低血糖にならないように必ず食べて下さい。食事摂取量が少ない場合は追加点滴となります。</p>			<p>昼食を食べてから退院下さい。</p> 
安静度	<p>検査中は成長ホルモンのバランスが崩れるため、眠らない程度に安静にしておいて下さい。(眠ってしまうと正確な検査結果になりません)</p> <p>消灯時には就寝をお願いします。それ以外には、特に制限ありません。</p>			
清潔	<p>入浴できます。検査後は、点滴した部分が濡れないように看護師が保護します。</p> 			<p>帰宅後は入浴できます。</p> 
検温	<p>検査前及び検査中に検温します。</p> <p>体調が思わしくない場合は、お知らせ下さい。</p> 			
	<p>翌日からの検査のために血管確保をさせていただきます。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・点滴が入っている所を痛がったり、不機嫌になるなど、普段と違う様子があればすぐに看護師に申し出て下さい。 ・点滴が入っている所は、曲げたり、押さえたり、引っ張るなど、激しく動かさないようにして下さい。 		 <p>検査終了後、点滴の針を抜きます</p>
検査	<p>入院当日</p> <p>必要に応じて左手のレントゲン検査を行う場合があります。</p> <p>医師の指示に従って下さい。</p>	<p>尿検査(検査初日のみ)、血液検査などがあります。</p> <p>1回目・2回目入院で検査内容異なります。</p> <p>薬の種類により副作用出現します。(眠気・吐気・元気がないなど・・・)</p> 		
	<p>安全に過ごしていただくために、入院中はできるだけご家族の付き添いをお願いします。</p> <p>検査は午前9時ころから開始し、検査内容によって異なりますが、2時間程度かかります。その間、一定時間ごとに採血する検査です。</p> <p>点滴を行っているルートからの採血ですので、順調にいけば痛みを伴うことはありませんが、点滴が漏れたり詰まった場合は刺し直しとなります。</p>			
説明・指導	<p>看護師による説明と身長・体重測定</p> <p>(入院までの経過・病状などをお伺いします。)</p> <p>(本日の予定・入院中の日課・病棟案内 等)</p>  <p>付添ベット(有料)が必要な場合は入院当日に看護師長または担当看護師へ直接お知らせください。</p> <p>次回外来受診日がわからない場合は看護師にお知らせ下さい。</p>	<p>Drの指示のもと、検査メニューが決まります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アルギニン負荷テスト — 30分間くすりを点滴する方法 ・グルカゴン負荷テスト — 皮下注射での検査方法 ・インスリン負荷テスト — 静脈注射での検査方法 ・クロニジン(カタプレス)負荷テスト —] ・L-ドーパ(ドパストン)負荷テスト —] <p>内服薬です</p> 		<p>医師による説明</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・次回外来受診日に検査結果の説明があります。 ・結果を聞きにこられる際は、ご家族の方のみで結構です。 

* 体調の変化が特になければ、予定どおり検査を行います。ご不明な点がございましたら、担当看護師におたずね下さい。

2020年6月作成 広島赤十字・原爆病院 中央棟8階・小児科外来